

2020年12月7日

SUBARU 新型「レヴォーグ」が「2020-2021日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会が主催する「2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤー」の最終選考結果が2020年12月7日に発表され、新型「レヴォーグ」が日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。SUBARUの受賞は2016年の「インプレッサ SPORT/G4」以来4年ぶり3度目となります。

新型「レヴォーグ」は、SUBARUに脈々と受け継がれる「より遠くまで、より早く、より快適に、より安全に」というブランドツーリングのDNAを継承。そのうえで、SUBARUの最新技術を結集し、「先進安全」、「スポーティ」、「ワゴン価値」の3つの価値を革新的に進化させたパフォーマンスワゴンです。

新型「レヴォーグ」の受注台数は、月販目標の2,200台に対し、12月6日までに12,594台に達しました。特に高度運転支援システム「アイサイト X」搭載グレード構成比が受注台数全体の94%と、多くのお客様に新型「レヴォーグ」の先進性が支持されています。

代表取締役社長の中村知美は、「皆さまからご評価を頂き、この度『レヴォーグ』が栄誉ある賞を頂戴致しました。大変光栄です。お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様からの御支援に感謝致しますと共に、これからも『安心と愉しさ』のクルマ作りを加速させてまいります。」と述べました。

<2020 - 2021 日本カー・オブ・ザ・イヤーについて>

2019年11月1日から2020年10月31日までに日本国内において発表された乗用車で、60名を上限とした選考委員の投票によって決定。賞典は、「日本カー・オブ・ザ・イヤー」「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」、部門賞「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」「パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー」「K CAR オブ・ザ・イヤー」。

<ご参考>

商品情報の詳細については、「SUBARU 新型『レヴォーグ』を発表～高度運転支援システム「アイサイト X」搭載グレード構成比が、先行予約台数全体の9割超え～」(ニュースリリース・10月15日発行)をご確認ください。

https://www.subaru.co.jp/press/news/2020_10_15_9094/



2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤー



新型レヴォーグ「GT-H EX」

なお、商品等についてのお問い合わせは、最寄りの販売会社、またはSUBARU お客様センター「SUBARU コール」0120-052215 までお願いします。